

實習所の若い女生徒達と、それを、にこ／＼楽しさうに見てゐる、あの髪の毛長いフレールベルと、その上を高く被ふ此のチューリンギヤの清透な蒼空を想像して見ました。

私は、こゝでフレールベル巡禮記の筆を措きませう。幸福なる巡禮者は、こゝに宮殿なき宮殿を見出して、宮殿より大きな野と森とを見出して、巡禮最後の心からの喜びに充たされて居るのです。(十二月十六日)

(附記) 私は此のチューリンギヤに、まだ幾日でも居たい心がします。しかし、急しい旅の間に、その餘裕もありません。それに、伊太利の方の旅に出る豫定の日も、だん／＼近づいて來ます。明日、ルーテルの遺跡を訪ふた後、ライプチヒを経て、一旦ベルリンに歸らうと思ひます。此の通信も急しい間の手紙だよりで印象の十分の一も記すことが出來ません。何づれ歸つてから、ゆつくりお話する機會もあらうと思ひますし、そこゝで撮つた下手な寫眞も其の時お目にかげ度いと思ひます。たゞ、弱い冬の日で、

どれだけ、うまく撮れたかと、頗るあぶな  
かしく思つて居ます。

○編輯室より

倉橋主幹を横濱埠頭に見送つたのは、みぞれ降る大正八年十二月十三日でした。あれからもう二年餘も経ちました。過ぎてみれば短いですがお留守番するものにとつて、殊に初めの一年間は本當に長く思はれました。しかし、大戦後の世界を一巡なさる先生にとつては、この二年間も束の間であられたこと、思はれます。

今や先生をのせた熱田丸は日本へ日本へと走つてゐます。御出發の時にもました御元氣な姿を迎へる日も愈々近づきました。

○  
本會のため非常に御盡力下さつた湯原元一先生は、今回東京高等学校長に御轉任となり校務御多端のため、會長の職を辭され、本會は新任東京女子高等師範學校長茨木清次郎先生を會長にいたゞくと、なりました。前會長によつて著しく發展の機運にむかつた會の諸事業は、新會長の御就任とともに愈々その歩を進むること、存じます。